

# 平成29年 死亡災害発生事例

(確定版)

番号	発生日	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1	1月	11時	廃棄物処理業	50～99人	被災者が機械式ごみ収集車へごみを投入する作業を行っていたところ、投入口の回転板に挟まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	トラック
2・3	1月	17時	その他の事業 (その他)	10～29人	被災者2名は、貯水池の湖面に設置されている水質自動監視装置の保守点検作業を行っていた。その後、事業所から2名と連絡が取れないとの連絡を受けた施設の職員が貯水池を確認したところ、岸近くにエンジン付きボートと浮いている2名を発見した。	おぼれ	水
4	1月	14時	陸上貨物運送業	10～29人	倉庫内において、フォークリフトを運転し作業を行っていた被災者が鋼製ラックとパレット8枚(約170Kg)に胸部を挟まれているところを出入り業者が発見したものの。	激突され	その他の用具
5	2月	11時	建設業 (建築)	10～29人	移動式クレーンを使って鉄骨梁(長さ約7.3メートル)を架台(高さ約1.9メートル)へ仮置きする作業において、被災者が鉄骨梁から玉掛用具を取り外したところ、鉄骨が落下し被災者に激突したものの。	飛来・落下	金属材料
6	2月	15時	製造業 (自動車付属品製造業)	100～299人	金属粉をプレス成形する機械(成形機)の運転管理を行っていた被災者が、成形機の脇で頭部から血を流して倒れている状態で発見されたもの。成形機の金型交換作業中、下降したスライドに頭部が挟まれたと推測される。	はさまれ、巻き込まれ	その他の金属加工用機械
7	2月	11時	建設業 (建築)	1～9人	建築物の解体工事において、被災者は建築物の梁上で作業をしていた。昼休憩となったため、地上に降りようとして梁に立てかけられていた梯子に乗り移ったところ、その梯子の上部が梁に固定されていなかったため、梯子が転倒し、被災者がコンクリートの地面に墜落したものの。	墜落、転落	はしご等

## 平成29年 死亡災害発生事例

(確定版)

番号	発生日	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
8	3月	15時	製造業 (鋳物業)	50～99人	鋳物砂を搬送する大型のベルトコンベアー付近において、被災者がベルトコンベアー外に落下して堆積した鋳物砂をホースで吸引し、回収する作業を行っていたところ、安全カバーが外され露出していたベルトコンベアーの回転軸にホースとともに巻き込まれたもの。	はさまれ、 巻き込まれ	動力伝達機構
9	3月	10時	警備業	100～299人	建設現場内の坂道に停車していた無人のダンプトラックが自然に動き出し、交通誘導警備を行っていた被災者へ激突したもの。	はさまれ、 巻き込まれ	トラック
10	3月	11時	建設業 (その他)	10人～29人	ケーブル新設工事のため、電柱に上って作業をはじめようとしていたところ、約5メートルの高さから地上に墜落し、全身を強く打ったもの。	墜落、転落	建築物、構築物
11	3月	18時	研究業	1000人～	設計開発の管理業務を担当していたが、休日のため自宅でパソコン作業中に突然、頭痛を訴え意識消失した。病院へ救急搬送されたが、「脳内出血」により死亡した。発症前2か月の時間外労働時間の平均は80時間を超えていた。	その他	起因物なし
12	4月	8時	商業 (その他の卸売業)	10～29人	配送先の敷地内で荷下ろし作業を行っていたところ、2トントラックの荷台から墜落したもの。	墜落、転落	トラック
13	5月	11時	製造業 (輸送用機械等製造業)	30～49人	汎用旋盤を用いて金属部品の切削加工を行っていた際に、回転していたチャックに取り付けられた加工物を保持するための金属製の爪に頭部が接触し、死亡したもの。	激突	旋盤

## 平成29年 死亡災害発生事例

(確定版)

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
14	5月	16時	建設業 (土木)	50～99人	資材置き場において、被災者がごみ集積場所から手押し台車を押して倉庫に戻る途中、別会社の社員が被災者の近くにあったトラックの運転席に乗り込み後進したところ、歩いていた被災者に気づかず巻き込んだもの。	巻き込まれ	トラック
15	5月	6時	その他の事業 (その他)	50～99人	設計業務に従事していた被災者が自宅で倒れているのが発見され、医療機関に搬送されたが、くも膜下出血により死亡した。発症前1ヶ月間の時間外労働数は、100時間を超えるものであった。	その他	起因物なし
16	7月	16時	その他の事業 (警備業)	10～29人	道路工事現場において、作業に使用していたドラグ・ショベルを駐車スペースに移動させていた際、前方にコーン等が配置されていたため、ドラグ・ショベルを後退させたところ、後方にいた交通誘導員に激突し、交通誘導員がドラグ・ショベルの下敷きになり死亡したもの。	激突され	掘削用機械
17	8月	8時	建設業 (建築)	10～29人	建設物の基礎工事において、回転圧入する杭を杭打ち機にセットするため、杭打ち機に設けられた巻上げ機で杭を吊り上げた杭が鉛直になった際、杭の玉掛けワイヤーロープが切れ、杭打ち機の方に倒れ始めたため、運転者が驚いて降車したところ、倒れてきた杭がその運転者を直撃したもの。	激突され	玉掛用具
18	8月	14時	陸上貨物運送業	10～29人	自社敷地内に鉄骨造平屋建ての倉庫を社員1名と建てていた事業主がその場から離れ、その後作業場に戻ったところ、一緒に作業していた社員が頭部に外傷を負った状態で地面に倒れているのを発見した。社員の傍には、足場板と鉄骨梁が落下していた。	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
19	8月	15時	建設業 (建築)	1～9人	木造建築物新築工事現場での作業中、地上約3mの所で柱の金物を打とうとしたところ足場のつなぎ目が折れて墜落したもの。	墜落、転落	足場

## 平成29年 死亡災害発生事例

(確定版)

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
20	9月	13時	建設業 (建築)	10～29人	建屋2階搬入口からフォークリフトを搬入するため、搬入台の設置作業を行っていたところ、搬入台2層目から墜落したものを。	墜落、転落	足場
21	9月	12時	建設業 (土木)	1～9人	下水道管を付設する工事において、掘削溝の幅95センチメートル、長さ約2メートル、深さ約2.3メートルの土止め支保工が設置されていない箇所で作業者が下水道管の下側に砂利を敷き詰める作業に従事したところ、地山が崩壊し、死亡したものを。	崩壊、倒壊	地山、岩石
22	10月	9時	建設業 (土木)	1～9人	道路舗装工事現場において、雑草の処理のために路肩部分の転落防止柵を乗り越えたところ、バランスを崩して約3.0m下にある水深2.5mの調水池に転落し溺死したものを。	おぼれ	水
23	10月	16時	建設業 (土木)	10～29人	下水道工事現場において、掘削した溝(深さ約2.2メートル)の中で、敷設された管の位置を確認する作業を行っていたところ、溝の法面が崩壊し、生き埋めとなり死亡したものを。	崩壊、倒壊	地山、岩石
24	10月	13時	林業	1～9人	山林の傾斜地において、一人でチェーンソーを用いて広葉樹の伐倒を行っていた被災者が、意識を失って倒れているのを他の作業者に発見されたもの。被災者の着用していたヘルメットには、複数箇所の損傷が見られた。	激突され	立木等
25	10月	11時	接客娯楽業 (飲食店)	1～9人	食材の買い出しのため、被災者が自動二輪車で道路を走行中、信号機のある片側2車線の交差点において、右折してきたトラックと衝突し、頭部を含めた身体全体を強く打ち、死亡したものを。	交通事故 (道路)	トラック

# 平成29年 死亡災害発生事例

(確定版)

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
26	11月	8時	建設 (建築)	1～9人	工場内における破砕機の防音工事において、フォークリフトの運転者が運転操作を誤り、フォークリフトが壁に激突しそうになったため、急にハンドルを左に切ったところ近くにいた被災者に激突したもの。	激突され	フォークリフト
27	11月	16時	陸上貨物運送業	1～9人	荷主先において、トラックに荷(住宅鉄骨部材)の積み込みを終え、被災者がトラック荷台側面にあるウイング部を閉じるときに、荷台外側に積まれていた鉄製のパレット(重さ約130kg)にウイング部が接触したため、鉄製パレットが落下、被災者がその下敷きとなったもの。	飛来・落下	その他の用具
28	12月	9時	陸上貨物運送業	10～29人	県外へ荷物を搬送した後、帰社のため準中型トラックで走行中、信号待ちで停車していた大型トラックに追突したもの。	交通事故 (道路)	トラック
29	12月	16時	陸上貨物運送業	1～9人	現場から持ち帰った資材を積載型トラッククレーンの荷台から荷降ろしするため、被災者が荷を結束していた番線を切断したところ、上部にあった単管パイプの束(20本約270kg)が荷崩れを起こしたもの。	崩壊、倒壊	荷姿の物
30	12月	12時	陸上貨物運送業	30～49人	荷主先において、トラック(ウイング車)に荷を積み込む作業を被災者が単独で行っていたところ、すでに積んでいた荷(700kg弱)が、何らかの原因によりロールボックスパレットごとトラックの荷台から落下し、落下した荷の下敷きになったもの。	飛来・落下	荷姿の物
31	12月	13時	建設業 (土木)	1～9人	建設現場において、緩やかな傾斜のあるところに停車していた無人のダンプカーが動き出し、慌てて止めに入った被災者がダンプカーとドラグショベルの間に挟まれたもの。	はさまれ、 巻き込まれ	トラック

平成 29年 死亡災害発生事例

(確定版)

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
32	12月	9時	建設業 (建築)	1～9人	軽量鉄骨造2階建てアパート新築工事において、2階の開口部(139cm×139cm)の端にて壁パネルの調整を行っていたところ、囲い等の墜落防止措置が講じられていない開口部から3メートル下の地上に墜落したもの。	墜落、転落	開口部